

令和4年度学校自己評価(前期)

学校教育目標		自ら考えて行動し、たくましく生きる児童の育成					
重点目標	①確かな学力の向上	めざす学校像 「友達大好き 学校大好き 和倉っ子」  めざす子ども像 ◇自ら進んで考える、かしこい子(知) ◇思いやりのある、やさしい子(徳) ◇心身ともに健康で、たくましい子(体)	めざす教師像 ○教師としての使命や責任を自覚する教師(服務規律、法令遵守の徹底) ○一人一人のよさを最大限に生かし、「チーム和倉」の総力で協働する教師 ○子どものために、チャレンジ精神と向上心をもって、互いに切磋琢磨し合う教師				
	②心の教育の充実(いじめ・不登校の未然防止)						
	③心身ともに健康な児童の育成						
	④家庭・地域から信頼され、地域とともに歩む学校						
	⑤「チーム和倉」の全教職員の「総和」で協働する学校						
(4・・・よい 3・・・おおむね 2・・・あまり 1・・・改善必要)							
	評価項目	4	3	2	1	平均	肯定的評価の割合(%)
重点目標①について	1 子ども達は、「わくらっ子の1・2・3」の「物を構える」(学習用具を整える)、「心を構える」(返事や反応)、「身を構える」(ビタピングで聴く・話す)ができています	1	10	2	0	2.9	84.6
	2 学力向上ロードマップの進捗状況を把握しながら、学力向上を行っている	3	8	1	0	3.2	91.7
	3 検証結果(学力調査・和倉検定・わくたまチャレンジ)を授業改善に生かしている	4	7	1	0	3.3	91.7
	4 意図的・計画的に帯タイムを活用している	4	7	1	0	3.3	91.7
	5 児童の実態に応じた授業を工夫し、「分かった・よくできた」といった学びの実感をもたせている	2	11	0	0	3.2	100.0
	6 ネットトラブルの未然防止等に資する情報モラルについての教育を計画的に行っている	2	7	3	0	2.9	75.0
	7 子ども達は、タブレット端末を効果的に利用している	5	8	0	0	3.4	100.0
重点目標②について	8 子ども達は、「和倉っ子ABCDの姿」など規範意識が育っている	1	11	1	0	3.0	92.3
	9 学級・学校で支持的風土の醸成ができています	2	10	1	0	3.1	92.3
	10 充実した特別活動や道徳教育、人権教育を行っている	3	10	0	0	3.2	100.0
	11 個人のニーズに合わせた特別支援教育の適切な支援を行っている	5	5	2	0	3.3	83.3
	12 児童会や縦割り班による異学年の体験活動を効果的にしている	6	7	0	0	3.5	100.0
重点目標③について	13 子ども達は、基本的な生活習慣を身に付けています	2	11	0	0	3.2	100.0
	14 子ども達は、感染症や熱中症等の予防を意識して行動している	4	9	0	0	3.3	100.0
	15 体カアップ1校1プランやスポチャレいしかわに積極的に取り組んでいる	3	7	3	0	3.0	76.9
	16 子ども達は、避難訓練や交通安全教室等において、命を守るために真剣に取り組んでいる	7	6	0	0	3.5	100.0
	17 日頃から危機管理意識をもち、児童の様子を観察し、指導している	7	6	0	0	3.5	100.0
重点目標④について	18 教育活動において、人、物、自然、文化等地域のリソースを有効に活用している(「ふるさと七尾SDGs教育」の推進)	6	6	1	0	3.4	92.3
	19 外部との連携により、充実した体験活動を行っている	3	10	0	0	3.2	100.0
	20 学校は、保護者や地域の意見に耳を傾け、それを活かしている	6	7	0	0	3.5	100.0
	21 児童の様子を保護者や地域に向けて積極的に発信している	5	7	1	0	3.3	92.3
重点目標⑤について	22 「報・連・相」を徹底し、一人で抱え込まず、組織で対応する体制ができています	9	4	0	0	3.7	100.0
	23 各教職員に適した校内研修(若プロ、OJT等)が充実している	4	9	0	0	3.3	100.0
	24 最終退校時刻(19:00)を遵守し、定時退校(月2回)を実践している	2	4	6	0	2.7	50.0
	25 働き方改革に向けた業務の平準化を推進している	3	6	4	0	2.9	69.2